

新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

事業名	一般国道3号 博多バイパス（下臼井～空港口）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	福岡県福岡市東区二又瀬新町～福岡県福岡市博多区榎田	延長	1.6 km		
事業概要	<p>一般国道3号博多バイパスは、福岡市東区下原を起点とし、福岡市東区二又瀬に至る延長7.7kmの道路である。</p> <p>このうち、評価対象区間は一般国道3号博多バイパスの南側区間を含めた箇所位置する延長約1.6kmの道路である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>本道路は、主要交差点の立体化により、交通渋滞の改善、道路利用者の安全性向上を図るとともに、混雑緩和による速達性・定時性の確保による物流拠点への物資輸送や第三次医療施設への救急搬送活動を支援するものである。</p>				
全体事業費	約360億円	計画交通量	約68,600～80,100台/日		
事業概要図					

事業評価結果

費用対便益分析	B/C	1.3	総費用：257億円 （事業費：253億円 維持管理費：4.4億円）	総便益：336億円 （走行時間短縮便益：291億円 走行経費減少便益：35億円 交通事故減少便益：11億円）	基準年：令和3年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.2（交通量 -10%）	B/C=1.5（交通量 +10%）		
		事業費変動	B/C=1.2（事業費変動 +10%）	B/C=1.5（事業費変動 -10%）		
事業期間変動	B/C=1.2（事業期間変動 +20%）		B/C=1.4（事業期間変動 -20%）			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	・対象区間が部分立体化されることで通過交通が転換し、混雑緩和が見込まれる。 〔平均旅行速度：【現況】12km/h → 【整備後】39km/h（約27km/h向上）〕		
		事故対策	◎	・渋滞緩和により、対象区間の交通事故減少が見込まれる。 〔死傷事故率：【現況】227件/億台キロ・年 → 【整備後】135件/億台キロ・年（約4割削減）〕		
		歩行空間	—	・注目すべき影響はない		
	社会全体への影響	住民生活	◎	・交通混雑が緩和されることで救急搬送時の速達性が向上。 〔東消防署～済生会病院間の所要時間：【現況】40分 → 【整備後】35分（約5分短縮）〕		
		地域経済	◎	・対象区間が部分立体化されることで通過交通との機能分担が図られ、定時性・速達性が向上。 〔信号交差点を通過する数：【現況】7箇所 → 【整備後】0箇所〕 〔千早駅～福岡空港間の所要時間：【現況】25分 → 【整備後】20分（約5分短縮）〕		
		災害	—	・注目すべき影響はない		
環境		—	・注目すべき影響はない			
地域社会	—	・注目すべき影響はない				
事業実施環境	○	<p>・計画段階評価手続き完了（令和3年9月）、都市計画決定手続き完了（令和4年2月）</p> <p>・福岡市長、福岡市道路利用者会議などから、博多バイパス（下臼井～空港口）の早期事業化の要望を受けている。</p>				

採択の理由

費用便益比が1.3と便益が費用を上回っており、また、計画段階評価及び都市計画決定の手続きを完了しており、事業採択の前提条件が確認できる。

一般国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）の立体化整備により、交通環境（渋滞）の改善、道路利用者の安全性向上が図られ、物流や救急搬送時の定時性・速達性向上により、経済活動や住民生活を支援するなど、事業の必要性・効果は高いものと判断される。

以上により、本事業は令和4年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

関係する地方公共団体等の意見

【福岡市長】
新規事業採択時評価に係る「一般国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）」事業の予算化について同意いたします。

一般国道3号博多バイパスは、福岡空港や博多港など広域的な交通・物流拠点が集積する本市東部地域において、交通の円滑化や物流の効率化に極めて重要な役割を担っております。

平成30年3月の博多バイパス全線開通により、周辺道路の交通渋滞は解消されたものの、交通の要衝である下臼井交差点～空港口交差点間においては、現在、著しい交通渋滞が発生しており、市民の日常的な移動や、物流、医療施設への救急搬送等に支障が生じております。さらに、今後、福岡空港の機能強化に伴う交通需要の増加が見込まれ、より一層の渋滞悪化が懸念されます。

これらの課題に対応し、定時性や速達性向上を実現するためには、博多バイパス立体化（下臼井～空港口）の整備が急務であります。

福岡市としても、周辺住民や地域団体の理解を醸成するための取組みや用地取得に最大限協力するとともに、福岡高速3号線延伸事業との調整を図りながら、関係機関との協議や道路占用物件の円滑な移設等に積極的に取り組んで参ります。

つきましては、「一般国道3号博多バイパス（下臼井～空港口）」の令和4年度新規事業としての予算化に特段の配慮をお願いします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化は妥当である。

事業採択の前提条件

- ・費用対便益：便益が費用を上回っている。
- ・手続きの完了：計画段階評価手続き完了（令和3年9月）、都市計画決定手続き完了（令和4年2月）